

1. 谷内透・田中彰 総論：軟骨魚類研究—過去, 現在, 未来—

1 章 分類と形態

2. 佐藤圭一……………トラザメ科の分類学・現状と問題
3. 地村佳純・石原 元・本間公也……………遠州灘で採集されたムツエラエイ属エイ類について
4. 古満啓介・山口敦子・西田清徳……………シロエイ *Dasyatis laevigata* の分類と生物的特徴について
5. 石原 元・木本秀明……………国際協力事業団（現国際協力機構）ガーナ国水産開発調査で採集された板鰐類
6. 手島和之・内田詮三・戸田 実……………第 2 背鰭を欠くオオテンジクザメの現状と今後の研究方向
7. 後藤仁敏……………ヨシキリザメの前部二重体 5 例について

2 章 分布と生態

8. 谷内 透・海老沢明宏・三谷 勇……………相模湾産深海性軟骨魚類, 特にフトツノザメの分布パターン
9. 山口敦子……………日本の沿岸域へのナルトビエイ *Aetobatus flagellum* の出現と漁業への影響
10. 山口敦子・三代岳樹・田中 彰……………長崎周辺海域におけるホシザメ資源の減少と生活史特性の変化
11. 矢野和成・谷口 修……………与那国島のアカシュモクザメの季節別な出現状態

3 章 年齢と成長

12. 谷内 透・海老沢明宏・小島隆人……………相模湾産フトツノザメの年齢と成長
13. 堀江 琢・田中 彰・土屋泰久……………日本の 4 海域から採集したトラザメ *Scyliorhinus torazame* と飼育トラザメ属の成長
14. 仙波靖子・中野秀樹・青木一郎……………北太平洋におけるアオザメの年齢・成長および資源に関する研究

4 章 漁業と資源

15. 後藤友明・高橋憲明……………岩手県沿岸域で漁獲されるサメ類の組成とその漁獲動向
16. 石原元・鈴木建一・鄭 忠勲……………漁業においてサメ混獲を最小にする様々な試み
17. 押谷俊吾・中野秀樹・松永浩昌……………南半球における外洋性サメ類の資源状態
18. 松永浩昌・中野秀樹……………外洋性サメ類の資源状態
19. 中野秀樹・松永浩昌・Shelley Clarke・仙波靖子
……………大西洋で初めて実施された外洋性サメ類の資源評価—CCAT サメ類資源評価ワークショップ—
20. 松永浩昌・中野秀樹
……………ワシントン条約の経過とサメ類の保護・管理—これまでの経過と第 13 回締約国会議の報告—

5 章 生理と生化学

21. Jennifer Wyffels・Motoyasu Masuda・Junichi Sakai・Yoshiaki Itoh
……………Characteristics of *Scyliorhinus torazame* egg case jelly
22. 兵藤 晋……………板鰐類の尿素による体液調節
23. 竹井祥郎……………サメの水飲みとホルモン
24. 松下 操……………自然免疫における補体レクチン経路
25. 村上昌弘……………アフリカ南東部において捕獲された板鰐類の含窒素エキス成分

6 章 利用と流通

26. 森中香奈子……………鮫皮工芸の歴史と伝播
27. 中村雪光……………日本に於けるサメ類の利用・流通の実態調査